

事務事業名	公共下水道汚水施設整備事業	所属部	水道局	所属課	下水道課
政策名	〈Ⅱ〉安全・安心で快適なまち《定住環境》	所属G	整備維持グループ	課長名	内田俊行
施策名	〈15〉下水道の整備	担当者名	新田利治	電話番号	0854-42-3471 (内線) 4610
目的 的 象	市民 意図 衛生的な生活環境の中で暮らす。	予算科目	会計 款 大事業 大事業 項 目 中事業 中事業 1 0 1 0 0 1	公共下水道汚水施設整備事業 公共下水道汚水施設整備事業 公共下水道汚水施設整備事業 公共下水道汚水施設整備事業	公共下水道汚水施設整備事業 公共下水道汚水施設整備事業 公共下水道汚水施設整備事業 公共下水道汚水施設整備事業
基本事業名	〈041〉下水道施設の整備				
目的 的 象	下水道未整備区域の市民 意図 下水道に排水できるように整備する。				

1 現状把握【DO】

(1) 事業概要

① 事業期間	
<input type="checkbox"/> 単年度のみ	<input type="checkbox"/> 単年度繰返 (年度 ~)
<input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (H16 年度 ~ R2 年度)	
② 事業内容 (期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
(木次・三刀屋処理区) 処理区域面積 541ha 計画人口 7,600人 管路延長 98km 終末処理場数 1箇所 計画処理能力 6,800m³/日 (1,700 × 4池)	
木次・三刀屋浄化センター他 機械電気計装設備更新工事 1式 木次・三刀屋処理区管路工事 1式	

(2) 事務事業の手段・指標

手段	① 主な活動		R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)					
	R元年度実績(R元年度に行った主な活動)		R2年度計画(R2年度に計画する主な活動)					
・木次・三刀屋浄化センター 機械電気計装設備更新工事 1式						・木次・三刀屋浄化センター 機械電気計装設備更新工事 1式		
・木次三刀屋処理区施設改良工事 機械・電気設備 1式						・木次三刀屋処理区施設改良工事 機械・電気設備 1式		
・木次・三刀屋処理区管路工事 1式						・木次・三刀屋処理区管路工事 1式		
② 活動指標			単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)		
ア 管渠工	m			0	283	0		
イ 機械電気計装設備等更新	箇所			1	1	2		
ウ 中継ポンプ更新	箇所			2	0	2		
エ						1		

(3) 事務事業の目的・指標

目的	① 対象(誰、何を対象にしているのか)	③ 対象指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	木次町・三刀屋町公共下水道区域内の住民、事業所等	ア 处理(整備)人口	人	8,982	8,867	8,659	8,503
		イ 管渠工	m	0	283	0	500
		ウ 機械電気計装設備等更新	箇所	1	1	2	1
目的	② 意図(対象がどのような状態になるのか)	④ 成果指標	単位	H29年度 (実績)	H30年度 (実績)	R元年度 (実績)	R2年度 (計画)
	対象施設すべての宅内排水を下水道へ接続し、汚水処理を行えるようにする。	ア 接続率	%	87.0	88.1	89.0	90.0
		イ 管渠工	m	0	283	0	500
		ウ 機械電気計装設備等更新	箇所	1	1	2	1

(4) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳(1年度決算)	② コストの推移	単位	H29年度(決算)	H30年度(決算)	R元年度(決算)	R2年度(計画)
消耗品 308千円	財源内訳 国庫支出金 千円		12,200	62,100	87,550	27,500
役務費 120千円	県支出金 千円					
委託料 148, 381千円	地方債 千円		12,700	52,600	77,300	30,500
使用料及び賃借料 213千円	その他 千円		2,238	2,800	1,111	
工事費 16, 939千円	一般財源 千円					
補償費 0千円	事業費計(A) 千円		27,138	117,500	165,961	58,000
計 165, 961千円	人件費 正規職員従事人数 人		3	3	3	
(起債名:過疎債、下水道債)	延べ業務時間 時間		1,400	1,400	1,600	
	人件費計(B) 千円		5,708	6,065	6,784	
	トータルコスト(A)+(B) 千円		32,846	123,565	172,745	

(5) 事務事業の環境変化・住民意見等

① 環境変化 (この事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?)	② 改革改善の経緯 (この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?)	③ 関係者からの意見・要望 (この事務事業に対して市民、議会、事業対象者、利害関係者等からどんな意見や要望が寄せられているか?)
・面整備は概ね完了したが、施設の老朽化対策として、ストックマネジメント計画等に基づき施設改修を行う必要がある。	・雲南市における効率的な汚水処理施設の整備・運営管理を計画的に実施していくため、平成29年度に雲南市汚水処理施設整備構造を策定した。これに基づき公共下水道と隣接する農業集落排水との連携・統合を図る。	・議会からは、下水道経営の安定化に向けた対策についての意見がある。 ・未接続調査をすべきとの指摘がある。 ・分担金の公平性について提言があり、R元年度見直しを行った。

事務事業名	公共下水道汚水施設整備事業	所属部	水道局	所属課	下水道課
-------	---------------	-----	-----	-----	------

2 事後評価【SEE】

A 目的妥当性	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつか? 意図することが結びついているか?			見直し余地があるとする理由	
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	* 余地がある場合		
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか? 税金を投入して達成する目的か?				
B 有効性	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	* 余地がある場合		
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加する必要はないか? 意図を限定・拡充する必要はないか?				
	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	* 余地がある場合		
④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果を向上させるため現在より良いやり方ははないか? 何が原因で成果向上が期待できないか?					
<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <input type="checkbox"/> 向上余地がない		理由	未接続者に対し早期の接続を促し接続率の向上を図る。		
⑤ 廃止・休止の成果への影響 この事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?					
<input type="checkbox"/> 影響無 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有		理由	今後は、施設の改築や更新が今以上に必要となるため廃止や休止はできない。		
⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的達成には、この事務事業以外の手段(類似事業)はないか? ある場合、その類似事業との統廃合・連携ができるか?					
<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある * ある場合 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない		理由	雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業 農業集落排水事業(処理施設)		
<input type="checkbox"/> 他に手段がない		理由	雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業により、木次・三刀屋浄化センターの脱水設備等の修繕・更新が不要となる。 汚水処理施設整備構想による農業集落排水施設の統合に取り組む。		
⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか?(仕様や工法の適正化、住民の協力など)					
<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある <input type="checkbox"/> 削減余地がない		理由	雲南クリーンセンター汚泥共同処理施設整備事業により、今後木次・三刀屋浄化センターの脱水設備等の修繕・更新が不要となることから、事業費の削減余地はある。		
⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 成果を下げずにやり方の工夫で延べ業務時間を削減できないか? 正職員以外や外部委託ができるか?					
<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない		理由	必要最低限の人員及び業務時間で業務を行っているので、人件費の削減余地はない。		
⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?					
<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である		理由	下水道使用料を賦課しているため公平である。		
評価の総括	① 1次評価者としての評価結果			② 1次評価結果の総括(根拠と理由)	
	A 目的妥当性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり	・下水道長寿命化計画や汚水処理施設整備構想に基づき事業を実施しており、現段階では適正な事業進捗と考える。	
	B 有効性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	C 効率性	<input type="checkbox"/> 適切	<input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり		
	D 公平性	<input checked="" type="checkbox"/> 適切	<input type="checkbox"/> 見直し余地あり		

3 今後の方向性【PLAN】

① 1次評価者としての事務事業の方向性(改革改善案)…複数選択可	② 改革・改善による期待成果																			
<input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善)	<input checked="" type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)																			
- 处理場については、長寿命化計画により事後保全から予防保全へシフトし、ライフサイクルコストの縮減を図る必要がある。 - 雲南市汚水処理施設整備構想に基づき、既整備地区の効率的な改築・更新や運営管理手法(施設の有効活用、施設の統合等)を計画的に実施していく。 - 管路についても点検を実施し、効率的に修繕、更新をしていく必要がある。 - 未接続者に対し早期の接続を促し接続率の向上を図る。 - 令和2年度から地方公営企業法を適用した。																				
<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>向上</td> <td style="background-color: #d3d3d3;">●</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td style="background-color: #d3d3d3;">×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td style="background-color: #d3d3d3;">×</td> <td style="background-color: #d3d3d3;">×</td> </tr> </tbody> </table> <p>廃止・休止の場合は記入不要。 コストが増加(新たに費やし)で成果が向上しない、もしくはコスト維持で成果低下では改革・改善とはならない。</p>			コスト			削減	維持	増加	向上	●			維持			×	低下		×	×
	コスト																			
	削減	維持	増加																	
向上	●																			
維持			×																	
低下		×	×																	